

## 情報開示文書

① 研究課題名	医療介護レセプトデータ利活用に関するつくば市との共同研究
② 実施予定期間	倫理委員会承認後～令和7年3月31日
③ 対象	対象期間につくば市に住民票がある国民健康保険の被保険者、後期高齢者医療制度の被保険者、要介護(支援)認定者
④ 対象期間	平成26年4月～平成31年3月の5年間
⑤ 研究機関の名称	筑波大学、つくば市
⑥ 研究責任者	田宮菜奈子(筑波大学ヘルスサービス開発研究センター長、筑波大学医学医療系教授)
⑦ 使用する資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市が、国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険の保険者として保有している以下のデータが「つくば市及び国立大学法人筑波大学の医療介護分野におけるデータ分析に関する覚書」及び「秘密保持契約書」に基づいて筑波大学に提供され、共同で研究が行われます。資料項目:国民健康保険給付実績、後期高齢者医療保険給付実績、介護保険給付実績、被保険者台帳、健診データ、要介護認定調査・主治医意見書</li> <li>筑波大学に提供される前に特定の個人を識別できない匿名化を行います。特定の個人と匿名化の際に置き換えられた記述等とを照合することができるような対応表も作成しません。</li> </ul>
⑧ 研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市の医療介護等のレセプトデータを利用して、つくば市の地域包括ケアの構築、さらには国内外の保健医療の向上に貢献する学術的なヘルスサービスリサーチを行い、特に下記の課題等を中心に取り組みます。</li> <li>健康寿命・境界期健康寿命の延伸に寄与しうる医療介護サービスの提供法、医療介護費用の適正化のための効率的な保健指導の方法、認知症の行動心理的状況に対する適正な医療介護サービスのあり方、人工透析にいたる腎疾患の重症化の予防施策など、高齢者の医療介護における重要な課題の解決を目指します。</li> <li>研究成果は、論文として公表するとともに、つくば市の施策にも反映させていきます。</li> </ul>
⑨ 倫理審査	筑波大学医の倫理委員会にて承認 (承認日:令和2年1月21日)
⑩ 結果の公表	学会発表および学術論文として公表します
⑪ 個人情報の保護	結果が公表される場合、個人情報が特定されることはありません。
⑫ 利益相反	利益相反に関わる研究者が当該研究に参画していますが、倫理委員会に諮った上で適切な管理を行なっています。
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	<ol style="list-style-type: none"> <li>つくば市保健福祉部国民健康保険課・課長補佐・大山孝 連絡先:(代表)029-883-1111 Email:ins010@city.tsukuba.lg.jp</li> <li>筑波大学医学医療系・助教・岩上将夫 連絡先:029-853-8849 Email:iwagami@md.tsukuba.ac.jp</li> </ol>